



二〇一三年の創業以来、システム改良をコツコツ繰り返しながら、有機栽培・こだわり農産物の生産から販売、物流までを一貫してつなぐ独自の情報集約プラットフォームを開発してきました。最近、蓄積してきたノウハウを、全国のさまざまな地域で活用してもらおう取り組みも進めています。

今回、中央卸売市場と周辺地域の生産者とタッグを組んで『奈良県中央卸売市場

地域密着&デジタル情報で仕入れ担当者の悩みを解決

Q3 今後、どんなことを実現していきたいですか。

オーガニック推進協議会』を設立、奈良周辺でオーガニック農産物を安定的に供給する仕組みづくりに取り組みはじめました。仕入れ担当の方々に通常市場に出回らない地域商材の最新情報を提供し、農家が個別に宅急便発送するのではなく、各地域の物流をとりまとめて市場に集約、ラストワンマイルは市場の配送網を通じて通常の野菜と同様にお届けできる体制を構築していく予定です。



有機栽培された農産物のニーズは確実に高まっています。ただ、産地のとりまとめや配機能が十分ではないため、安定供給や価格面の判断から、仕入れに二の足を踏むケースが多いのではないのでしょうか。(株)へんこでは、そうした仕入れ担当の方々が抱える課題に寄り添い、情報収集から集配まで、生産者と仕入れ担当者をワンストップのシステムでつなぎます。

地域の農業者と仕入れ担当者をワンストップシステムでつなぐ



中小規模生産者の悩みの種、販路と物流を的確にサポート

Q1 卸売業を始めたきっかけを教えてください。

私自身も有機栽培に取り組み生産者ですが、有機農産物等のこだわり農産物の場合、農協や市場のような公的な流通の仕組みが整っていません。生協や宅配業者など定の販売先と栽培契約を結ぶか、地元の直売所に持ち込むか、あるいはインターネット上のマッチングプラットフォームに頼ることが多いです。でもこういうパターンだと取引先との「閉じた」関係になったり生産者同士が競合関係になったりして、生産者同士の連携は起こりにくいんです。

近所に住んでいるのに交流がないのはつまらないと感じて、生産者らの情報交換・連携の場を運営するうちに、しっかりビジネスにつながる地域の販売組織をつくりたいと思うようになり有志の方に呼びかけました。その結果、多くの関係者が協力や出資に応じてくれて『株式会社へんこ』が生まれました。

創業当初は手元にあるものを売る「プロダクトアウト」の形で、独自ブランディングに

へんこ 代表取締役 村山 邦彦

取り組んでいましたが、流通について徐々に学ぶにつれ、地域の新規参入者、中小規模生産者らが生き残り、成長するためには、販路や物流を共有することが大切だと考えるようになりました。そこで、生産者らを物流面・情報面からサポートする産地卸売の仕組みづくりを事業のメインに据え、現在に至ります。

有機農産物などを生産する20~30軒の生産者と連携

Q2 扱う農産物の特徴について教えてください。

現在、20~30軒の生産者と取引しています。三重県伊賀地域を中心に、隣接する奈良県、京都府、滋賀県の生産者らを回る集荷ルートがあり、品目としては、ほうれん草や小松菜、ケール、トマト、きゅうり、さつまいもなど、珍しいところでは有機栽培イチゴ、アレッタなども扱っています。メンバーは有機栽培に取り組み比較的小規模な生産者が多いですが、まとまったロットを出荷可能な生産者も含まれます。

生産者の農産物情報は、丁寧な聞き取りをもとにシステムに登録されるので、取引先の仕入れ担当者は入手可能な商品リストを随時確認して発注できます。

物流手段は、業務用を意識して、極力宅急便等に頼らず路線便を活用して費用を抑えるほか、周辺地域には自社で直接配送を行っています。例えば、伊賀地域内では

商品紹介

小規模生産者のこだわり農産物も細やかな情報提供によって店頭へ



ることにより、ロットの小さな農産物に至るまで、最新情報を案内することが可能です。自社開発による独自システムは、皆さまのご要望に合わせて、随時アップデート&進化していきます。

三重、奈良、京都周辺のオーガニック&こだわり農産物を取りまとめ、年間を通じて供給してきたのが「へんこ」の強み。20~30軒の生産者と連携し、年間約80種類の農産物を取り扱っています。生産者からの情報収集、バイヤーの皆さまへの商品案内をシステム化す

株式会社 へんこ

【TEL】 0595-51-8188
【MAIL】 info@henko.jp
〒518-1142 三重県伊賀市古山界外271番地1

奈良県中央卸売市場オーガニック流通推進協議会

【TEL】 0743-56-7040
【MAIL】 nara-org@outlook.jp
〒639-1123 奈良県大和郡山筒井町957-1